

小金井市教育大綱 (案)

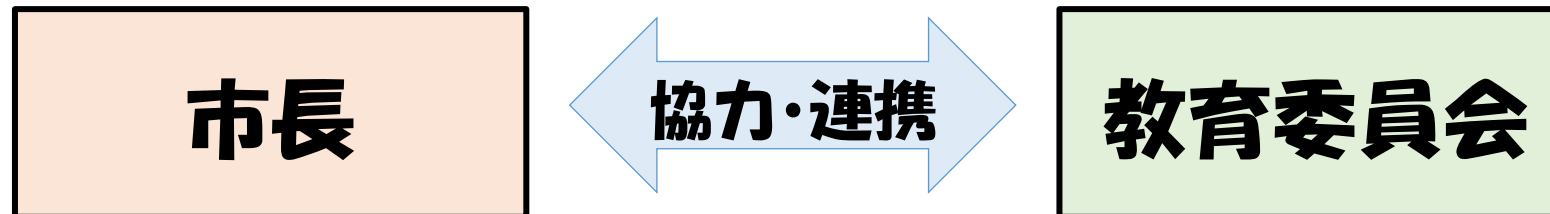
令和7年10月

教育大綱の策定について

◆教育大綱とは

教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地域の実情に応じた、教育、生涯学習、スポーツ、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針として、地方公共団体の長が定めるものです。

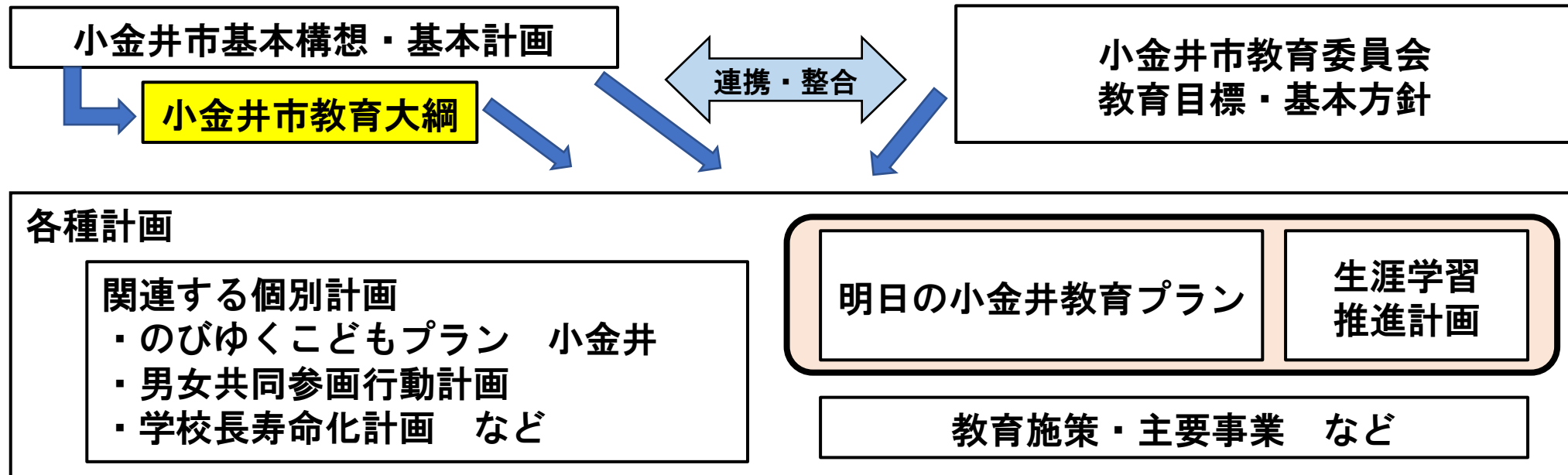
小金井市では、小金井市教育委員会の教育目標及び基本方針を尊重し、市長と教育委員会が協力・連携しながら、小金井市の教育を更に充実・発展させるために、理念・方針・取組の方向性を定めます。



教育大綱の策定について

◆教育大綱の位置づけ

小金井市教育大綱は、小金井市教育委員会が掲げる「教育目標・基本方針」と連携・整合を図ります。具体的な取組については、「明日の小金井教育プラン」や「生涯学習推進計画」をはじめ、関連する各種計画に基づき推進していきます。



理念

1. 全ての子どもが、主体的に学び合い、多様性を包摂し、創造力豊かに未来を切り拓く教育を推進するまち
2. 全ての市民が学びを通じて豊かな人生を送り、一人ひとりの成長が社会全体の発展につながるまち

方針

- ① 未来を創造する力の育成
- ② 自他の人権を大切にして、共に生きる人の育成
- ③ 地域・家庭・学校が協働し、その子らしさを引き出す教育の推進
- ④ 安全で安心な学習環境の整備・充実
- ⑤ 学びを通じた豊かな人生の実現と知の循環による生涯学習の推進
- ⑥ 文化・スポーツに気軽に親しむことができる環境・機会の充実

取組の方向性

方針① 未来を創造する力の育成

◆日本固有の伝統文化やグローバル社会、情報社会への理解を踏まえ、ＩＣＴ利活用の推進を図るとともに、宿泊行事や英語学習における豊かな体験活動の充実を図ります。

◆主体的に学び、多様な人々と協働して新しい価値を生み出す人を育てる教育を推進するために、教員の授業力の向上を継続的に図り、授業の質の維持・向上を目指します。

取組の方向性

方針② 自他の人権を大切にして、共に生きる人の育成

◆子どもたち一人ひとりの困り感に応じた支援を実施するとともに、不登校傾向児童・生徒に対応するための取組を進めるなど、その子らしさを最大限に伸ばすことを目的にチームとして継続した支援をすることができる環境の整備を図ります。

◆いじめをしない・させない・見逃さないように、児童・生徒、教員や保護者などの意識を高めるとともに、安心して報告・相談がしやすい環境を整え、組織的な対応を図ります。

◆道徳教育の充実を図るとともに、子どもの声を聴き、子どもの権利を尊重する取組を推進します。

取組の方向性

方針③ 地域・家庭・学校が協働し、その子らしさを引き出す教育の推進

- ◆コミュニティ・スクールの仕組みをいかしながら、地域ボランティアを始めとする地域の教育資源の積極的な活用を図ります。
- ◆学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」を目指します。
- ◆地域と協働した食育、健康教育、安全教育を推進します。

取組の方向性

方針④ 安全で安心な学習環境の整備・充実

- ◆子どもたちが学習に集中することができるよう、安全かつ安心な学習・生活環境の確保を図ります。
- ◆GIGAスクール構想により、これまでの教育実践にＩＣＴを活用していくことで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図ります。
- ◆児童・生徒数の推移を定期的に見直し、普通教室の整備のほか、様々な方策で対応を図ります。

取組の方向性

方針⑤ 学びを通じた豊かな人生の実現と知の循環による生涯学習の推進

◆誰もが生涯学習に親しむことのできる環境づくりに向けて、社会教育施設・関係機関と連携し、市民による生涯学習活動を支援します。

◆学びによって得た知識や経験を豊かなまちづくりにいかすことができるよう、関係機関と連携し、魅力ある仕組みづくりを推進します。

◆学びを止めないための環境整備を進めるとともに、放課後の子どもの居場所の充実など、学校と地域が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもの成長を支える地域社会の活性化を目指します。

取組の方向性

方針⑥ 文化・スポーツに気軽に親しむことができる環境・機会の充実

◆市民一人ひとりを尊重し、市民が主体的に、文化に触れる機会を広く提供するとともに、生涯を通じて運動・スポーツを楽しむことができる環境づくりに努めます。

◆健康を保持・増進することにより、健康寿命の延伸や生きがいをもった暮らしにつなげるため、定期的に運動・スポーツをする習慣づけを図ります。

◆豊かなコミュニティが育んだ地域の多様な団体・人材と連携し、文化・運動・スポーツを支える体制の充実を図ります。